

あべのじんじや

## 17. 阿部野神社



### ◆所在地

北島 3丁目 7番 20号

### ◆概要

北島親房と北島顕家の両公が祀られている。神社は顕家が足利軍と戦った古戦場にあり、明治 15 年 (1882 年) に阿部野神社と号して別格官幣社に列せられた。現在の社殿は昭和 43 年 (1968 年) に再建されたものである。また、両公の生前の遺徳から知恵と勇気と学問の神として地域の人々から深く信仰されている。全国にある建武の中興に尽力された天皇、皇子、そして多くの忠臣義士をお祀りしている「建武中興十五社」の一つにも数えられている。



きたばたけ

## 18. ドムール北島



### ◆所在地

北島 3丁目 3番 2号

### ◆概要

風致地区の由緒ある古い住宅地、その敷地の高低差と在来の大樹を生かし、歩車共用の道路沿いに個性的な住戸を配置している。昭和 57 年 7 月に完成。

ふみ さとしょうてんがい  
19. 文の里商店街



◆所在地

昭和町1丁目

◆概要

地下鉄御堂筋線昭和町駅のすぐそばに位置する商店街。店舗数は約60店舗で、食料品、衣料品、飲食店等が立ち並んでいる。地区周辺には、平成26年(2014年)3月7日全面開業した「あべのハルカス」や「あべのand」「Hoop」、「あべのキューズタウン」などがあり、商業施設の競争が激化している地区にありながらも、地域の生活に密着した商店街として、古き良き商店街の雰囲気を守りつつ、これまでも100円商店街の実施などを通じて、商店街の活性化に積極的に取り組まれている。

大阪商工会議所と文の里商店街が協働で、商店街の賑わい創りや新たな顧客獲得を目指す事業として平成25年に実施された「文の里商店街ポスター総選挙」で、一躍注目を集めた。



につぼんせいこうかいおおさかせい きょうかい  
20. 日本聖公会大阪聖アンデレ教会



◆所在地

昭和町3丁目1番57号

◆概要

明治17年(1884年)に川口居留地(現:大阪市西区川口)で英国聖公会宣教協会によって創設された桃山学院と深い繋がりをもつ。桃山中学校内の生徒と教職員による聖書研究会が嚆矢となる。聖書研究会は明治42年(1909年)に桃山中学校会衆、さらに明治44年(1911年)には桃山准教会へと発展した。大正6年(1917年)、学内でのキリスト教活動が禁止になり、その活動は当時の校長宅を経て、新生伝道館という建物に移された。昭和2年(1927年)、新生伝道館が桃山中学校の隣(現在地)に移築され、これと同時に桃山准教会は大阪聖アンデレ教会になった。移築された建物は昭和36年(1961年)の第2室戸台風により大きな被害を受けた。そのため、昭和39年(1964年)に現在の礼拝堂に建て替えられた。平成2年(1990年)には教会成立100周年を機に改修工事が行われた。桃山学院聖アンデレ礼拝堂としても使用されている。



あべのながや  
21. 阿倍野長屋



◆所在地

昭和田 4 丁目 6 番 8 号

◆概要

あびこ筋から東に一步路地へ進むと、少し懐かしい下町の姿があり、その一角に「阿倍野長屋」が存在する。中には、洋館があったり、中庭を覗める縁側があったり、一度腰を下ろすと気持ちが和む場所である。様々な人が利用できるスペースとして、時間単位や1日単位でレンタル可能で、交流会、パソコン教室、ヨガ教室、展示会など様々なイベントに利用されている。

ひめまつりゆうじょう  
22. 姫松停留場



◆所在地

帝塚山 1 丁目 8 番 1 号の先

◆概要

路面電車という性格上、プラットホーム上に上屋が設置されるだけの簡易なものが多い中、姫松駅は独立型のもので整備されており、木造、平屋建て、鉄板葺きの小ぶりなデザインの駅舎である。建築年代は電化が進む大正 7 年頃のものと考えられる。正面に開口部を設け、内部は 1 室の空間である。柱には腕木のような形で桁を支え、また柱上と桁の間には格子状に束を入れる。

おくだてい  
23. 奥田邸のクスノキ



◆所在地

西田辺町 1 丁目 20 番

◆概要

寛文 3 年 (1663 年) に猿山新田を開墾した奥田市郎兵衛の子孫の方が住まれている非公開邸内に大阪市指定の保存樹のクスノキがある。新田の開墾時に防風と美観のために森林を造成し、「猿山の森」と呼ばれていた。このクスノキはその森の名残である。